

エコー電子工業株式会社 様

利用の手軽さから社員の約25%が利用。
ポップアップ字幕機能も活用し、
より伝わりやすいウェビナーを実現。



導入前の課題

- 社内や外部との会議が多く議事録作成に時間を割かれており、本来の業務が圧迫されていた
- 新入社員などは会議を録音して聞き返ししながら議事録作成しており、かなりの時間を要していた

導入後の効果

- スタートするだけで自動的に録音と文字起こしをしてくれ、議事録作成の手間が削減
- 聞き返したい箇所がピンポイントで再生できるため、聞き直しの作業も楽に

社員からの意見がきっかけで導入を検討

当社では、社員から意見・要望を匿名で投稿できる意見箱と、それをとりまとめる委員会を設置しており、社員からの意見や要望を大切にしています。その中で寄せられた意見の一つとして、「社内や外部との会議が多く議事録作成に時間を割かれており、本来の業務が圧迫されている」というものがありました。当社は「ScribeAssist」の販売代理店であったため、すぐに導入を検討しました。

利用の手軽さから社員の約25%が利用



▲ ScribeAssist の利用イメージ

導入を決めた一番大きなポイントは「手軽さ」です。起動に少し時間がかかることはありますが、スタートすれば放っておいても自動的に録音と文字起こしをしてくれるため、さまざまな会議で手軽に利用しています。

録音した音声を発言ごとに再生できるのも非常に便利です。議事録作成に慣れていない新入社員などは、会議を録音して聞き返ししながら議事録を作成するため、作成にかなりの時間を要していました。しかし、この機能により聞き返したい箇所がピンポイントで再生できるため、作業が格段に楽になっています。

導入後約3ヶ月で、全体の約25%にあたる47名の社員が利用し、総利用時間は391時間にのびりました。今後は、まだ使ったことのない社員にもまずは一度試してもらい、その手軽さと便利さを実感してもらうことで利用者数を拡大し、全社的に業務の効率化を図っていきたいと考えています。

リアルタイム字幕でオンラインセミナーを伝わりやすく

当社では定期的にオンラインセミナーを実施していますが、そこでは「ポップアップ」機

能を活用しています。セミナー中の発言が自動的に文字起こしされ、視聴者の画面にリアルタイムで字幕表示されるので、より伝わりやすいオンラインセミナーが実施することができるようになりました。最近実装された、文字起こしされた内容が議事録形式に要約されるAI要約機能にも期待しており、当社でもトライアルを進めています。



エコー電子工業株式会社

サービス	ScribeAssist
業種	通信・IT
利用シーン	社内打合せ、商談
導入	2023年4月

録音のコツ

マイクの運用方法によって、音声認識の精度が大きく向上します

		会議 (大人数)	会議 (少人数)	面談	セミナー
IC レコーダー		×	△	○	○
グースネック マイク		○	—	—	○
ハンド マイク		◎	△	△	◎
バウンダリー マイク		○	○	○	—



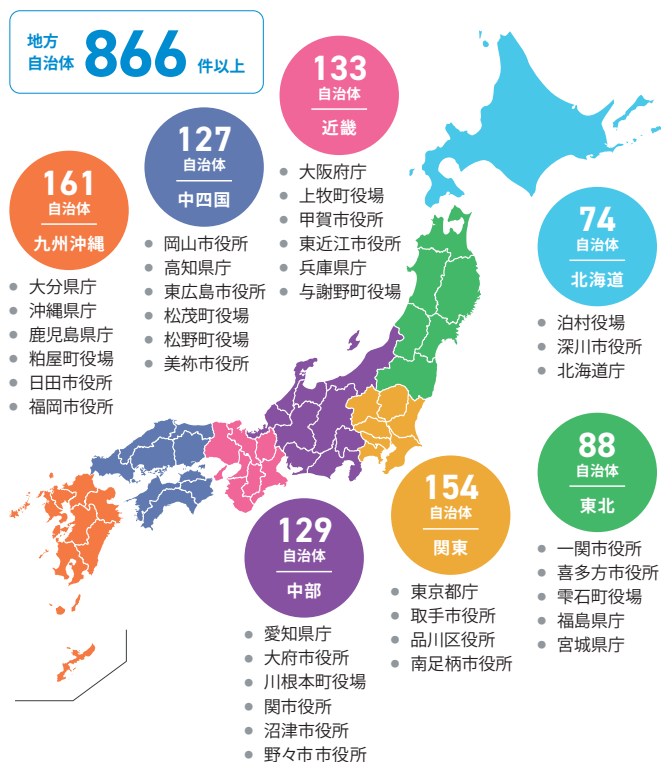
マイクと口元が近いと○



マイクと口元が遠いと×

導入実績

2025年3月現在／議事録ソリューションの導入実績



製品情報



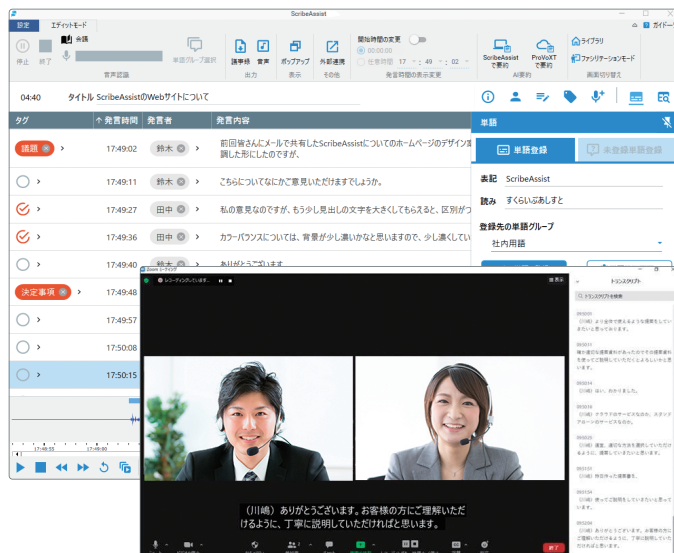
AI音声認識とAI要約で 議事録作成を自動化します

ScribeAssist (スクライバアシスト) は、音声録音からテキスト化、編集、要約までをワンストップで実現する、AI音声認識で議事録作成を自動化するアプリケーション。

スタンドアローン型アプリケーションなので、インターネット接続の有無にかかわらず、いつでもどこでもご利用いただけます。

リアルタイム認識、ファイル認識の両方に対応しており、Web会議のみならず、テレワーク、対面での会議や商談・打ち合わせ、経営会議、セミナー・講演会、研修、インタビュー、面談など、様々なシーンでの議事録作成業務の効率化を支援します。

ChatGPTと連携した自動要約機能も搭載し、議事録作成にかかる手間を大幅に削減します。



製品詳細ページはこちら

